

信濃川水系中ノ口川浸水想定区域図

『信濃川水系中ノ口川浸水想定区域図』

1 説明文

(1) この浸水想定区域図は、信濃川水系中ノ口川の洪水はん濫により浸水した場合に想定される浸水範囲を示したものである。

(2) この浸水想定区域図は、現在の信濃川および中ノ口川河道整備状況を勘案して、信濃川の洪水調節に関する計画の基本となる降雨である概ね150年に1回起こる大雨が降ったことにより、中ノ口川がはん濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより算出したものである。

(3) このシミュレーションの実施にあたっては、新川等の他河川のはん濫、想定を超える降雨によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合は、別途、指定・公表される浸水想定区域図を参照する必要があります。

(4) なお、当該区域について、隣接する洪水平野指定河川信濃川下流左岸および信濃川大河津分水路右岸のはん濫の影響が考えられますので、別途、指定・公表される信濃川水系信濃川浸水想定区域図および信濃川水系信濃川（下流）浸水想定区域図を参照する必要があります。

2 基本事項

(1) 作成主体 新潟県
信濃川水系中ノ口川（実施区域：信濃川への合流点～信濃川からの分岐点まで）

(2) 対象となる河川 信濃川流域の2日間総雨量 270mm

(3) 計画降雨 新潟市、白根市、味方村、西川町、湯東村、月潟村、巻町

(4) 関係市町村 新潟市、白根市、味方村、西川町、湯東村、月潟村、巻町

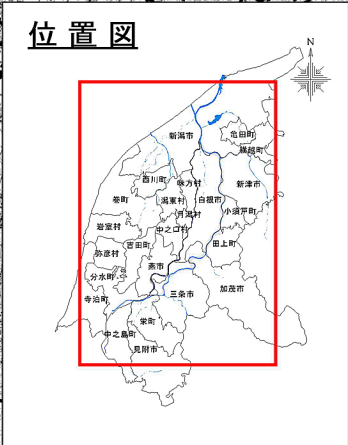
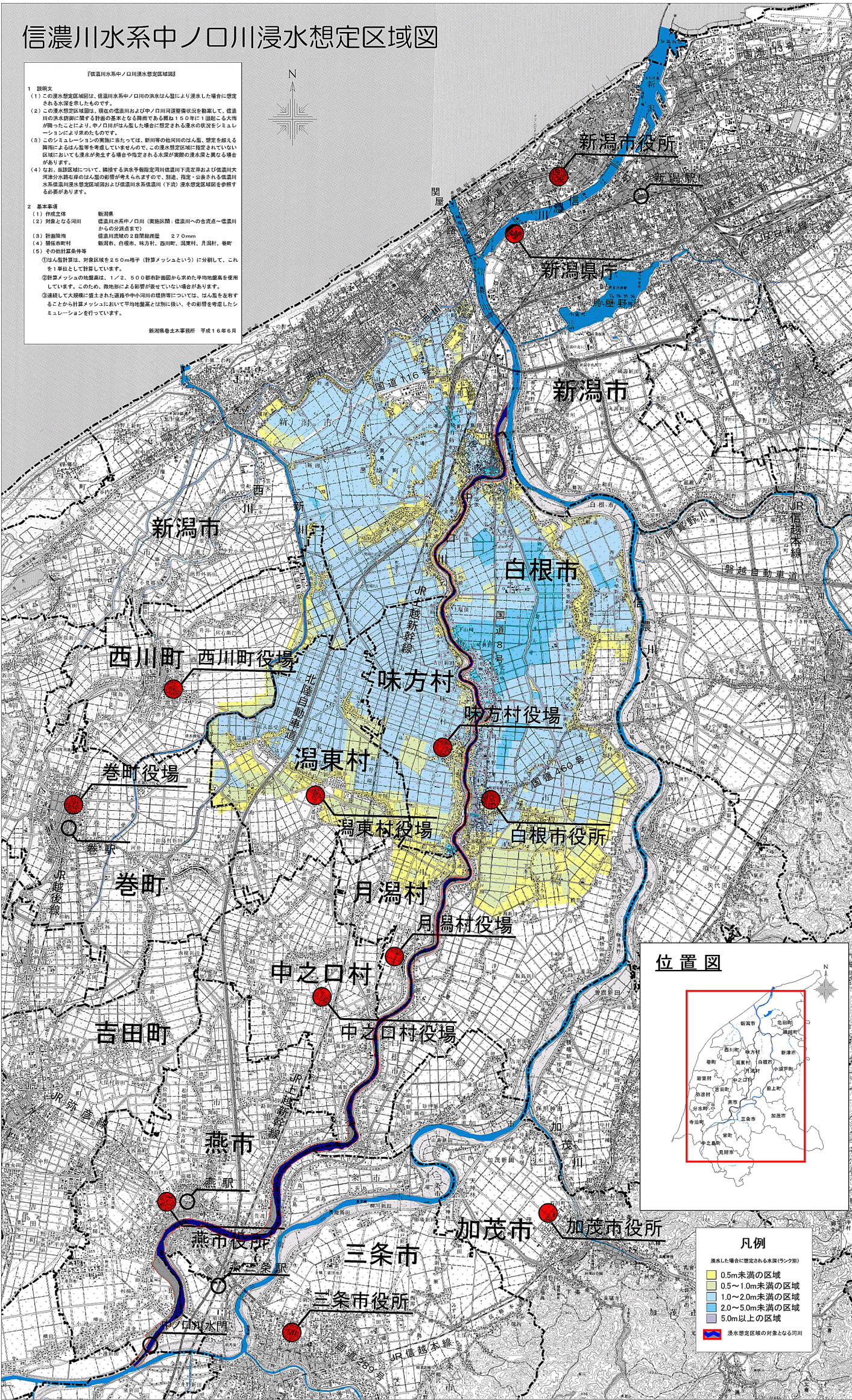
(5) その他計算条件等

①はん濫計算は、対象区域を250m幅の計算メッシュ（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。

②計算メッシュの地形高は、1/2、500都市計画図から求めた平均地形高を使用しています。このため、地形による影響がでない場合があります。

③連続して大規模に浸水された道路や中ノ口川の堤防等については、はん濫を左右することから計算メッシュにおいて平均地形高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

新潟県土木事務所 平成16年6月



凡例	
浸水した場合に想定される水深（センチメートル）	
0.5m未満の区域	
0.5～1.0m未満の区域	
1.0～2.0m未満の区域	
2.0～5.0m未満の区域	
5.0m以上の区域	
浸水想定区域の対象となる河川	